



武蔵台文化センターまつり

指導科 小峯 孝男

7月16日（土）に武蔵台公園にて第40回武蔵台文化センターまつりが行われました。「地域との交流を通じて、利用者の生活体験の幅を広げ、センター事業に対して住民の理解と協力を得る場とする」を目的として毎年わたあめを出店しています。今年は天候にも恵まれたたくさんのお客様の来場があり、時には、長い行列ができました。もちろん、作る方もお客様を待たせないようにと頑張りました。

利用者の方も、お祭の雰囲気を楽しみながら、綿アメを手にしていました。中には、病棟にお土産として持ちかえる方もおりました。この時期は、毎年天候に左右されるので参加できるか心配でしたが、今年は、最後まで雨も降らず終了することが出来ました。お蔭様で、延べ135名の方が足を運んでくれました。また、来年も天候に恵まれ参加できればと思います。



府中療育センターマスコットキャラクター



メタセこいやん



くめぎちゃん



夏祭り特集



～2-A病棟～

2-A 星屋 聡子

2-A病棟では、7月15日(金)夏祭りが開催されました。朝から準備を始め、花火の絵などを飾り付けたり、お祭りの音楽を流したりして夏祭りの雰囲気を出しました。利用者の方々もハッピーを着て、気分も盛り上がっていました。利用者の方に太鼓を鳴らして頂き夏祭りは始まりました。病棟の入り口やゲームコーナー担当の利用者の方は、笑顔でお客さんを迎えてくれました。夜店の飲み物コーナーでは、カルピスやアップルジュースで喉を潤します。お化けの的当てでは、上手に的に当たると「おめでとう」と拍手と太鼓が鳴り利用者も笑顔で嬉しそうでした。たこ焼きゲームでは、ビンゴをねらったたこ焼きを転がすと、入っても入らなくても歓声で盛り上がりました。暑さをひと時忘れて、夏の夜のお祭りを皆さんと楽しむ事ができました。



～3階合同夏祭り～

3-1 上野 聡子



7月20日、3階合同夏祭りを開催しました。

前半は昨年同様、筑波大学サークル「斬桐舞(きりぎりまい)」による「よきこいソーラン踊り」を披露していただきました。迫力のある踊りと威勢の良い掛け声に、近くにいた利用者は目を丸くして見入っていました。その後、移動できない方のために各病棟でも踊りを披露していただきました。後半は各コーナーに別れて夏祭りを楽しみました。今年のメインは「スマートボール」です。ミニオンズの絵柄をあしらったボードで点数を競います。10点・20点・100点の的を目指してボールを飛ばしました。高得点者には賞状と景品が手渡されました。その他には、毎年恒例の色とりどりのヨーヨー釣り。折り紙で作る「花火」と各利用者が思い思いの場所に参加しました。ご家族や他病棟からの参加も多く楽しい夏祭りを行うことができました。



映画会

4-2 後藤 由美子

6月28日(火)4-2病棟では、映画会を行いました。映画会とは言っても、内容は「ジャニーズ体育の日FAN感謝祭」で、13年前の若かりしTOKIO・V6・嵐などが、真剣にかつ楽しそうに、リレー・サッカー・野球を行った時のDVDでした。

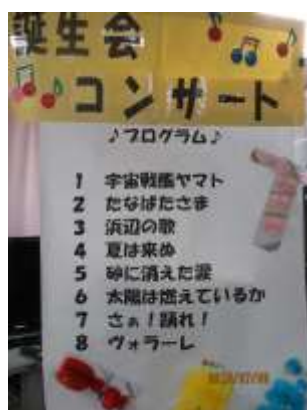
紅白に分かれたメンバーが、走ったり、シュートを決めたりする真剣な姿、たまに転んだりする姿を見て、利用者の方々もV6などのお気に入りのメンバーのうちわを振り、まるで自分が一緒に楽しんでいるかのように笑っていました。また、客席の歓声の臨場感やほかの病棟の利用者が集まっていたこともあり、終始笑顔の絶えない映画会となりました。



♪～4-1病棟 誕生会コンサート～♪

4-1 田村 かなる

7月6日午後、7月生まれの3名のお祝いと、ボランティアによるテノール・ピアノのコンサートを行いました。ハッピーバースデーの歌でお祝いした後、ケーキ型の手作り巨大フレームの中で記念撮影をすると、大きな拍手が起こり素敵な笑顔が見られました。コンサートは「宇宙戦艦ヤマト」で始まり、マイクなしのテノールの歌声に病棟のディールームはコンサート会場に変わりました。「七夕さま」そして「浜辺の歌」「夏は来ぬ」の日本の美しい曲が続き、「砂に消えた涙」等ムードのある曲、「さあ踊れ」の軽快な曲、最後のカンツォーネ「ヴォラーレ」の後にはアンコール曲で盛り上がりました。利用者の方々の年齢や好みに合った歌とピアノ演奏を楽しむことができ、たくさんの笑顔が見られました。他病棟の利用者の方々やご家族の皆様の参加もあり賑やかな雰囲気の中でひと時を過ごすことが出来ました。コンサート終了後にはお礼に病棟の活動で手作りした芳香剤をボランティアの方にプレゼントしました。



平成28年度 第1回交通安全講習会が行われました

事務室 山口 裕輔

6月30日（木曜日）、あじさい館多目的室において、平成28年度第1回交通安全講習会が行われ、府中療育センター職員72名と多摩療育園職員4名が参加しました。

講習会は府中警察署員の方を講師にお招きし、前半は自動車運転時の危険予測に関するDVDの視聴、後半は講師の方による講話という内容でした。

自動車運転時の危険予測DVDでは、よく通る慣れた道を通行する際に、「来ないだろう」ではなく「来るかもしれない・来る」という意識を普段から持つことの重要性を認識しました。

基本的な心構えとして、車に乗る際には、事故にあうような状況を作らないことが基本であり、常に危険を予測することが重要であることを再度認識できました。

後半の講話では、交通事故の中で交差点での発生が70%であり、予防対策の1つとしてアイコンタクト運動の推進のお話がありました。

アイコンタクト運動の推進とは、交差点では運転手とアイコンタクトをとることにより、運転手と意思の疎通を図り、交通事故を防止する取組であるとの説明がありました。実際に府中市であった交差点での死亡事故についてもアイコンタクトをとるゆとりがあれば防げた事故も多いそうです。

加えて、自転車の交通事故で最も多い違反事故は、安全不確認であり、通勤中や業務での自転車使用時はもとより私生活においても急いでいるときこそ安全の確認を徹底していきたいと思いました。



自衛消防審査会に参加しました！

事務室 田中 稔浩

6月24日（金）府中市民陸上競技場にて、自衛消防訓練審査会が行われ、今年度は39隊の参加がありました。当センターからは、男子隊、女子隊の2隊が参加しました。

この審査会は、事業所で火災が発生したという想定のもと、初期消火、避難誘導、屋内消火栓の取り扱い等について迅速性と正確性を競い合います。

当センターの消防隊のメンバー6名は、5月9日から11日間の練習を行いました。審査会では、1つ1つの動きを正確に行うことはもちろんのこと、隊員同士の動作を揃えることも審査項目の1つでした。そのため、何度もDVDを見て確認し、細かい点の修正を繰り返しました。府中消防署の方が指導に来てくださった際は、手足の動かし方をはじめ、DVDでは理解することのできなかったホースのさばき方などをご指導いただきました。

男子隊、女子隊ともに1番目の発表で隊員一同緊張していましたが、院長をはじめ多くの職員が応援にかけつけ、非常に力をいただきました。結果は、男女ともに敢闘賞（4位）でした。

今回の審査会での経験を活かし、災害に備えて、自助・共助の力を高めていきたいと思えます。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>